

(参考) 近隣の地盤調査の結果(興能信用金庫小木支店)

報 告 書

興能信用金庫小木支店新築基礎地盤調査

昭和46年9月

北 国 鑿 泉 株 式 会 社

1. 調査概要

- a. 調査名 興能信用金庫小木支店新築基礎地盤調査
- b. 調査場所 鳳至郡内浦町小木
- c. 調査量 $\phi 65 \frac{mm}{m} \times 10 m \times 1$ ヶ所
- d. 調査期間 自 昭和46年9月23日
至 昭和46年9月25日
- e. 使用機械器具 カノ - KR - 100型 1台
標準貫入試験器具 1式
- f. 監督 浦建築設計研究所
- g. 施工 北国鑿泉株式会社

2. 調査目的

本調査は、興能信用金庫小木支店の新築に当り、基礎地盤の地質構成を明らかにし、又、地盤の支持力度をも知り、基礎設計の資料とするを目的として行なつたものである。

3. 調査結果

本調査の結果は、別紙ボーリング柱状図のとおりである。

それによれば、深度 6.80 m まで非常に軟らかい粘性土で、N 値 1 以下と軟らかい。深度 6.80 m から当地域の基盤岩である泥岩、凝灰岩が確認されて、N 値も 50 以上と硬い。このような地層に支持層を求めるものとすれば、言うまでもなく、 6.80 m 以深の泥岩に求めるべきであろう。

しかしながら、ここで注意しなければならない事は、泥岩は風化の度合によつて N 値が大きくても、杭を打入した場合、N 値より小さい値となる場合があるので、充分なる留意が必要である。

本調査の結果も、 6.80 m ～ 8.50 m の泥岩は風化が著しいとみなされるので、杭基礎とした場合、杭長を充分にとるべきであろう。

— 以 上 —

ボーリング柱状図

調 査 名	興能信用金庫小木支店新築基礎地盤調査			調査主体名	浦建築設計事務所
地点番号		掘進長	10.12m	責任者	尾蔵喜八郎
標 高	現 地 盤	調査期間	546年9月23日~9月24日	機械操作	舛田 弘
方向角度	鉛 直	使用機械	九一 KR-100型	施工者	北国鑿泉株式会社

[illegible]